

2015年5月14日

エフセキュア、「2014年下半期脅威レポート」 日本語版を公開

エフセキュア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：イングヴァー フロイランド、以下 エフセキュア）は、エフセキュアラボによる「2014年下半期脅威レポート」の日本語翻訳版を公開いたしました。

エフセキュアは毎半期、セキュリティ脅威に関する世界的な状況をまとめた「脅威レポート」を発刊、一般公開しています。このたび、2014年の下半期についての脅威レポートの日本語翻訳版を制作し、提供を開始いたしました。

日本での脅威の傾向

2014年下半期にエフセキュア製品のユーザから当社監視システムに報告された、日本での脅威の統計は次のような順になりました。

1. Worm:W32/Downadup
2. Trojan:W32/Autorun
3. Exploit:JS/NuclearEK
4. X97M.Laroux
5. Exploit:JS/AnglerEK
6. Exploit:SWF/Salama
7. Exploit:Java/Majava
8. Trojan:HTML/Kilim
9. Trojan-Downloader:W32/Dalexis
10. Trojan:JS/Fbook

Downadup : Windows の MS08-067 の脆弱性を悪用するワームで、インターネット、リムーバブルメディア、およびネットワーク共有を介して拡散します。過去7年間、常に世界全体に蔓延しています。

Autorun : 多くの場合、感染したリムーバブルメディアとハードドライブを介して感染が拡大するワームのファミリーです。データを盗む、バックドアをインストールするなどの有害な操作を実行することができます。

2014年下半期脅威レポートの日本語版は、こちらでご覧いただけます。

<http://news.f-secure.com/ThreatReport2014H2>

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。
*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

エフセキュア株式会社 会社概要



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、さまざまなデータを保存や共有する力と、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2014年5月に日本法人設立満15周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
代表取締役社長: イングヴァー フロイランド
所在地: 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社
マーケティング部
Tel: 03-3556-6301 Fax: 03-3556-6295
Email: japan@f-secure.co.jp
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F
URL: <http://www.f-secure.com>
Blog: <http://blog.f-secure.jp>